

地域防災及び通学路の安全安心を確保する取組

※世帯数及び人口は令和4年4月1日現在

東区	小学校区・地区名	朝日地区	世帯数	811世帯	人口	1,719人
----	----------	------	-----	-------	----	--------

■組織の概要

朝日地区は、岡山市の南東端で、南は瀬戸内海に面し、山や畑地、水田が広がる複雑な立地となっています。自然や緑が豊かな反面、住民の高齢化率も高く、自然災害や児童の通学、生活交通に不安を抱えている地区です。

そのような中、朝日地区安全・安心ネットワークでは、連合町内会を主体に自主防災組織や各種地域団体、旧小学校等と綿密な連携、協議を重ね、緊急かつ重要な課題に絞り、安全安心を確保する活動に取り組んでいます。

■活動の取組内容

過去の災害経験（高潮、土砂災害、洪水）と自然・生活環境及び減少する子ども達という実情を踏まえ、活動内容は、地域防災と通学路の安全安心の確保に絞った取り組みを行っています。

地域防災では、①地区全体の防災備品、グッズの計画的導入と教育施設（地区避難所）での一元管理、②住民の防災意識高揚のための体験研修や避難訓練の実施③避難行動要支援者の確認と支援計画書の作成などに取り組んでいます。また、通学路の安全安心の確保では、①通学路および旧校庭周辺の草刈りや樹木の縮伐、②通学路一帯に有るため池に、注意喚起看板や浮き輪を設置、点検するなどPTAと連携し定期的に行っています。



【防災講習会～防災講習、ロープワーク】



【防災体験研修～防災食試食会】



【旧幼稚園に整備した防災備品やグッズ】



【ため池の看板、浮き輪の修理点検】



【校庭周辺の樹木伐採】

■活動の成果および今後の課題

〔地域防災〕

- ①地区避難所での防災備品の整備完了。今後は自主防災組織（単位町内会ごと）での整備充実。
- ②防災研修や避難訓練の実施（年一回）と継続。
- ③要支援者24名の計画書を作成。今後は、地区独自の計画書を作成する予定。

〔通学路の安全安心〕

- ①通学路の環境整備を毎年実施。閉校後、旧小学校周辺付近を集中的に環境整備する予定。
- ②ここ2年、活動規模は縮小していますが、全単位町内会ごとに自主防災組織が出来たり、コロナ禍で安全安心に対する意識が高揚するなど これまでの活動が、防災・安全安心に関するモチベーションアップにプラスに影響していると考えています。

■工夫していること

安全安心ネットワークだけでは活動規模も小さいため、町内会は勿論、自主防災組織との連携を大切にしてきました。特に、地区全体を包括する組織（朝日地区連合町内会、消防団朝日分団、自主防災組織「みまもり隊」）との連携、協力は、これからも必要不可欠と考えられます。